

## 戦争と治安管理に反対するシンポジウムⅧ

# 対テロ戦争とは何か？ 今こそ断ち切ろう！ 戦争と弾圧・排除の道

□3月13日(日) 13時～19時

□南部労政会館 JR大崎駅 下車3分

□資料代 前売券500円・当日600円

○13時30分～16時 分科会

・第1分科会 戦争・治安・改憲—安倍暴走の行方

提起者：石川裕一郎さん(聖学院大教授：憲法)

・第2分科会 共謀罪・盗聴法・秘密法—戦争・治安は一体

提起者：春日勉さん(神戸学院大教授：刑訴法)、山下幸夫さん(弁護士)

・第3分科会 国家主義と差別・排外を撃つ

提起者：安田浩一さん(ジャーナリスト予定) & 現場から

○16時30分～19時 全体集会

パネル・ディスカッション

提起：清水雅彦さん(日本体育大教授：憲法)+分科会提起者のリレートーク

コーディネイター 足立昌勝さん(関東学院大名誉教授：刑法)



戦

## 戦争と治安管理に反対するシンポジウムⅧ実行委員会

東京都港区新橋2-8-16 石田ビル5階 救援連絡センター気付 TEL.03-3591-1301

パリ同時襲撃事件に対し、オランダ仏首相は、自らの空爆を棚にあげて“これは戦争だ”と叫び、気候温暖化反対デモ参加者350余名を逮捕するなど戒厳態勢を今も敷いている。また安倍政権は、辺野古新基地建設強行など戦争国家化に走る一方で、伊勢志摩サミット戒厳態勢を敷き、国家緊急権を軸にした改憲まで公言している。惨事を自ら仕掛け便乗する“ショックドクトリン”以外の何物でもない。

支配者はなぜいま“戦争”をしたがるのか？現在の戦争は、どのような形で仕掛けられているのか？秘密法と盗聴法改悪・共謀罪などはバラバラに仕掛けられているのか？命に序列をつける戦争国家化と差別・排外、生活破壊はどう関係するのか？戦争に反対するためには、どのような闘いが必要なのか？いま私たちは改めて根本的に問われている。

研究者・弁護士・各領域の活動家が集まり、8回目となる戦争と治安管理シンポジウムを開き、反撃に転じたい。是非ともご参加ください。